★ドキドキ大アクションよみもの

スーパーマリオ物語

目ざせ クッパ城！ のまき

●ぜんかいの おはなし

クッパは、たからを さがして チョコレー島へ わたった。ところが マリオたちは、ノコノコたちの わなに はまって、うみの 水で おぼれそうに なって しまう。

「いそいで リフトン、クッパの ところへ。」

おぼれて いた マリオたちを のせて、リフトンは、もうスピードで、およぎます。

「まかせて、マリオ。チョコレー島は こっちだよ。」

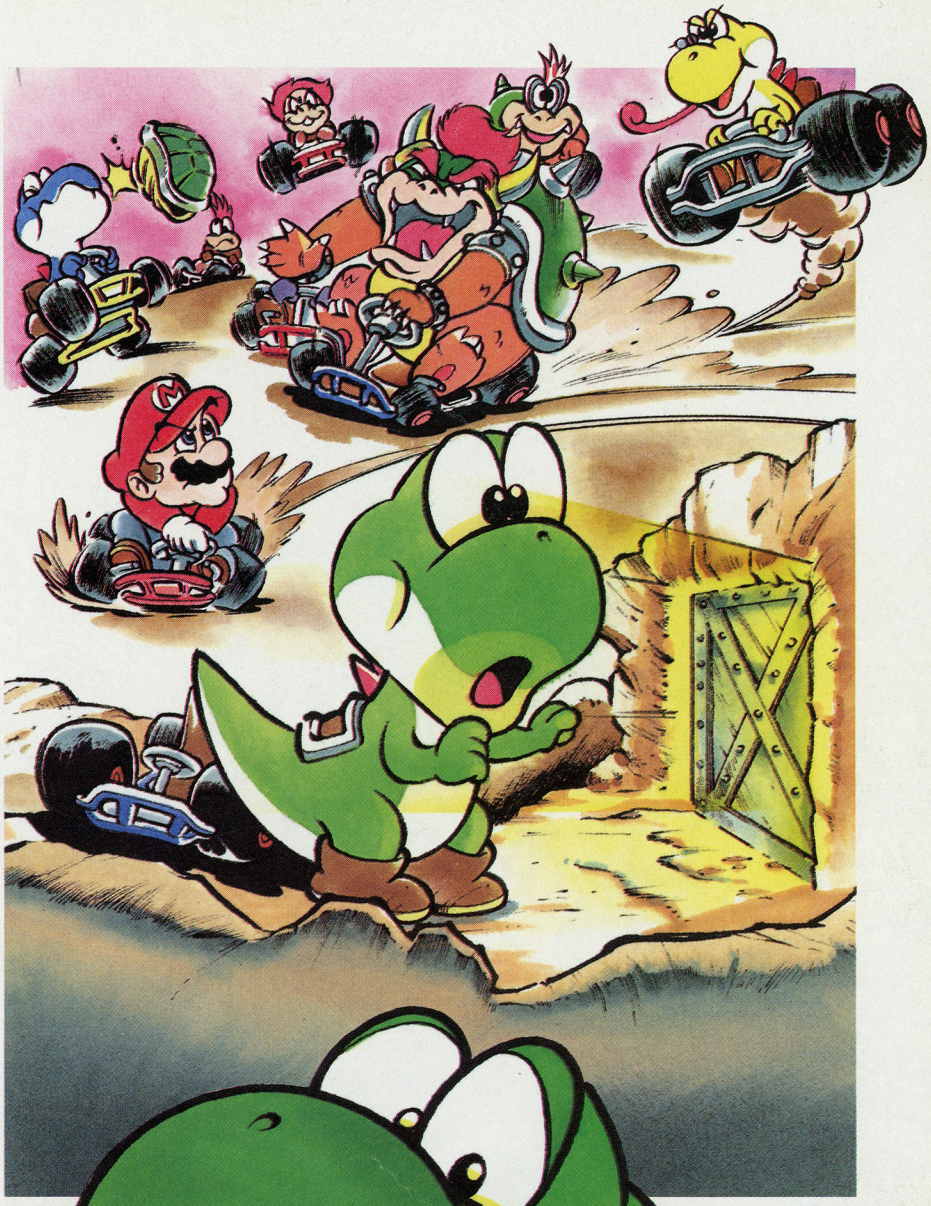
©NINTENDO

文／飯野文彦　絵／斎藤純一郎

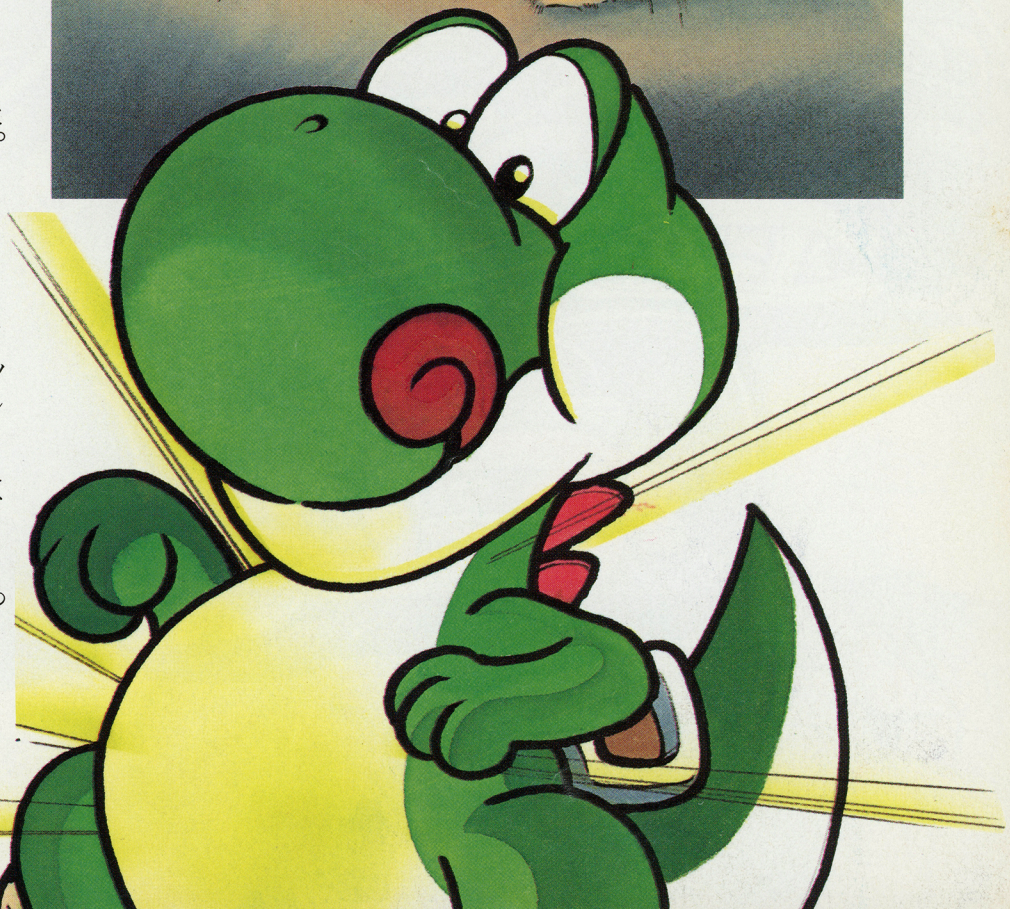
いわかげの　ふるびた
とびらの　まえに、クッパが
たからの　ちずを　もって
立って　います。
「やったぞ。ついに　たからの
かくしばしょを
見つけたぞ！」
とびらを　あけると、中から
サーッと　ひかりが
ひろがりました。
たからが　キラキラと
かがやいて　いるのです。
「どんな　たからか、たのしみだ
なあ。うははは！」
ああ　ついに
たからは　クッパの
ものに……。

しかし　その　とき。
ブルルルルル――ン！
どこからか　エンジンの
音が　ひびいてきました。
「ん？　なんだ……？」
「まてえっ、クッパァー！」
マリオが　ひらりと　おりて
きました。ぎりぎりの　ところで
まに　あったのです。

「マ、マリオ。なんで　ここが、
わかったんだっ。」
「チョコレー島の　みんなが、
おしえて　くれたのさ！」
マリオの　うしろから、
たくさんの　きょうりゅうたちが
すがたを　あらわしました。
「マリオ、ぼくらも
たたかうよ。これいじょう
クッパの　かってに
させる　ものか！」



きょうりゅうたちは、
いっせいに　とびかかります。
「こしゃくな。
ものども　かかれ！」
クッパの　手下たちも、
まけずに　はんげき　かいし。
あっと　いう　まに、
大らんとうに　なりました。
「いけ、ものども　たおせえ！」
「まけるな！　わるものたちを
やっつけろ！」
クッパも　マリオも
たたかいに　ねっ中して　います。
「そうだ！　いまのうちに…。」



ヨッシーは　こっそりと
たからに　ちかづき、パックンと
たべて　しまいました。
「やあい、クッパ。たからは
こっちの　ものだぞう。」
ヨッシーは、ぴかぴか　ひかる
おなかを　ゆびさしました。

「おのれ、ピーチひめだけは
ぜったいに わたさないぞ。」
おこった クッパは、
ひこうせんに とびのり、
クッパ城へ むかいます。
「ここは ぼくらに まかせて、
クッパを おいかけて。」
きょうりゅうたちが いいます。
「ありがとう、たのんだよ。」
マリオは あわてて、クッパを
おいかけました。

クッパ城では、ピーチひめが、
くさりに しばられて います。
「おれと いっしょに こい。」
クッパは、
いやがる ピーチひめを
つれて いこうと します。
「いやっ。だれか、
たすけてえ！」
「むだだ。だれも くるもんか。」

ところが、クッパ城の もんを
ぶちやぶって、マリオたちが
とつ入して きました。
「ああ、マリオ……！」

「ピーチひめ、たすけに
きたよ。」
「おのれ、しつこい　やつめ。」
クッパは　カートに　とびのり、
こうらを　れんぞく　はっしゃ。
こうらは　石の　かべに
はんしゃして、あちこちから
おそいかかって　きます。
ヨッシーが　たべようとしても、
はやすぎて　おいつきません。
「わああ、目が　まわるう……。」
ヨッシーは　ドターンと、
たおれて　しまいました。
「クッパめ、ぼくが　やっつけて
やるっ！」
ルイージが　たくみに
こうらを　よけながら、
クッパに　せまります。
あと　すこしで　たいあたり。
しかし、いきなり　上から
ドッスンが　おちて　きたのです。
「うわあああああっ！」

◆たたかいの　ゆくえは？　たからの　正たいは？　いよいよ　かんどうの　さいしゅうかいへ！